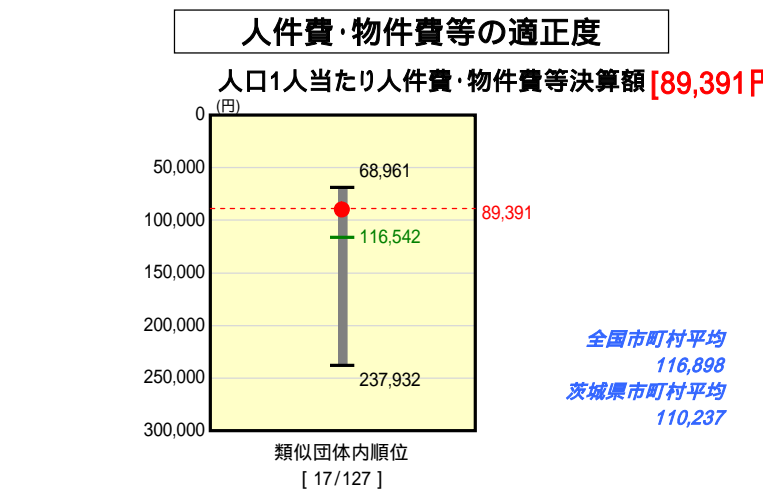
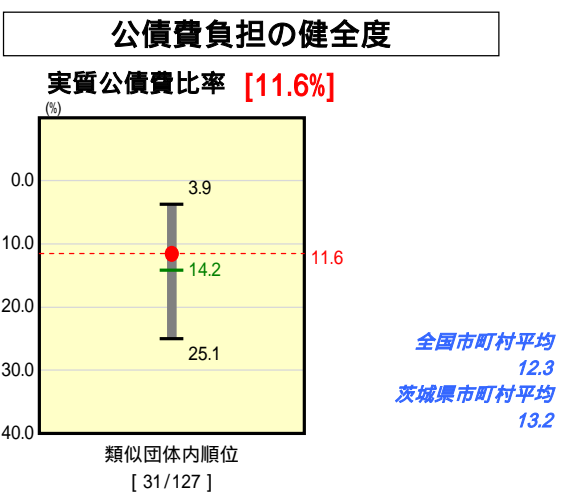
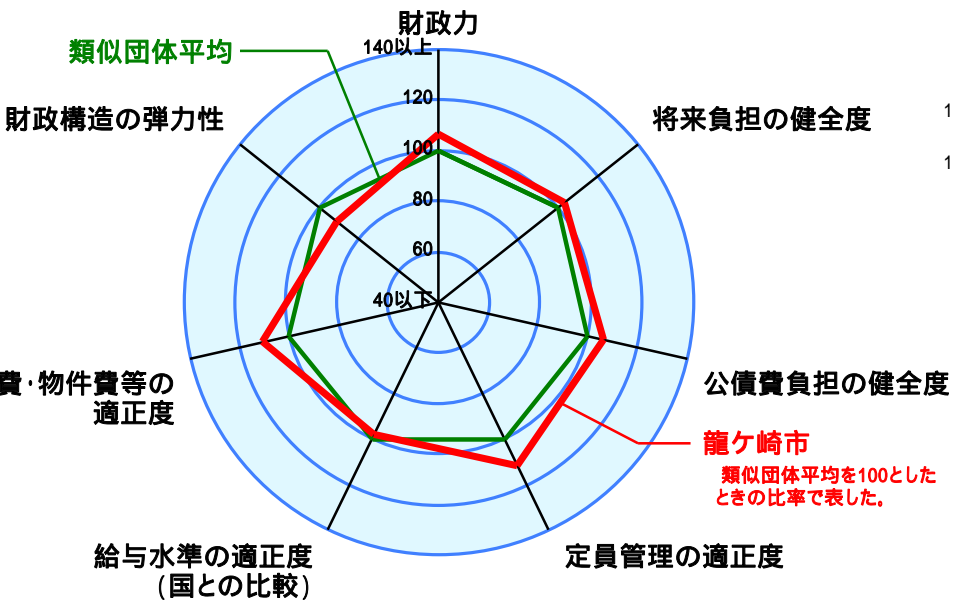
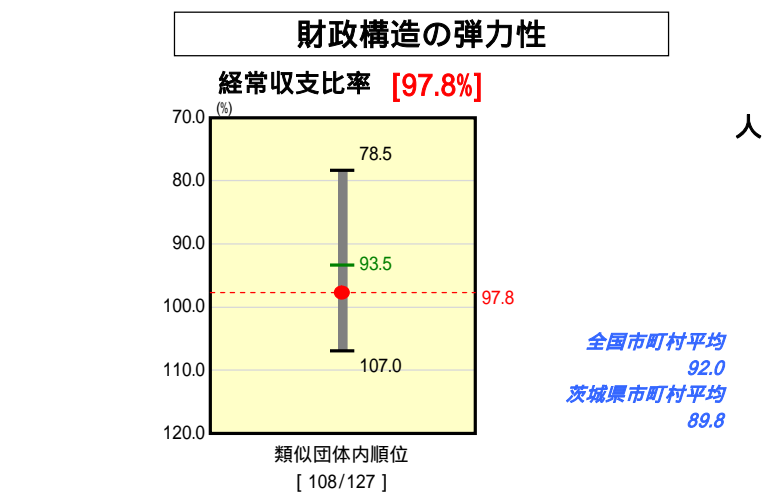
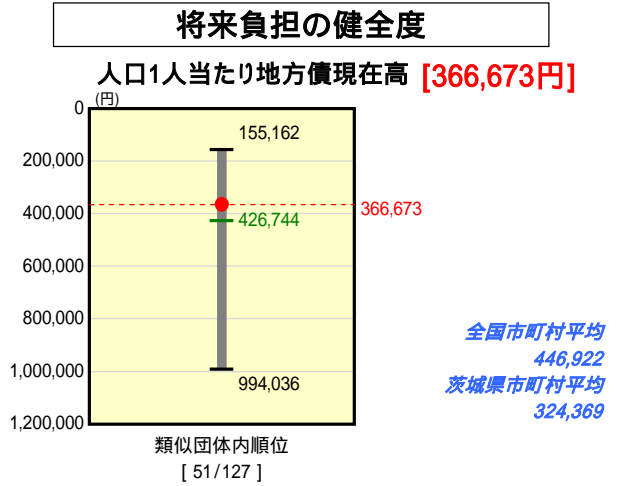
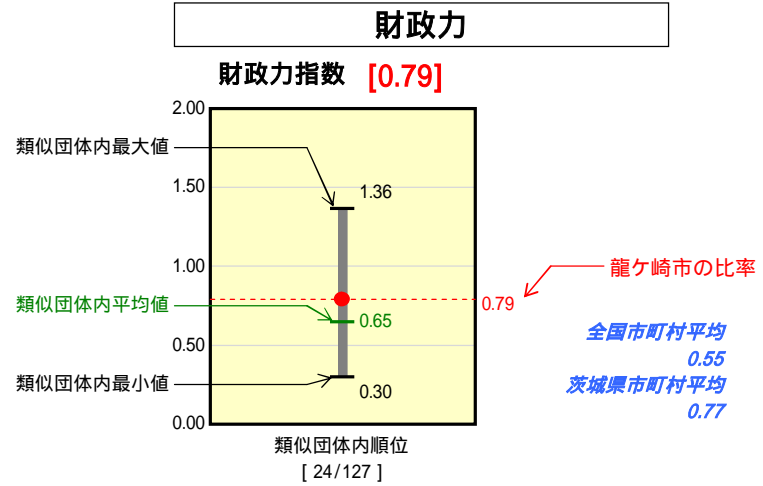


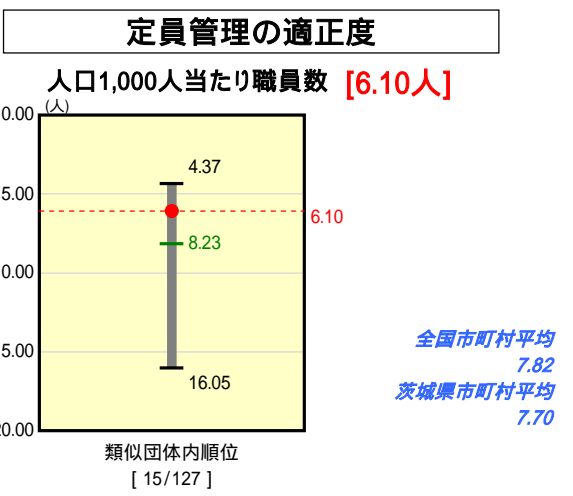
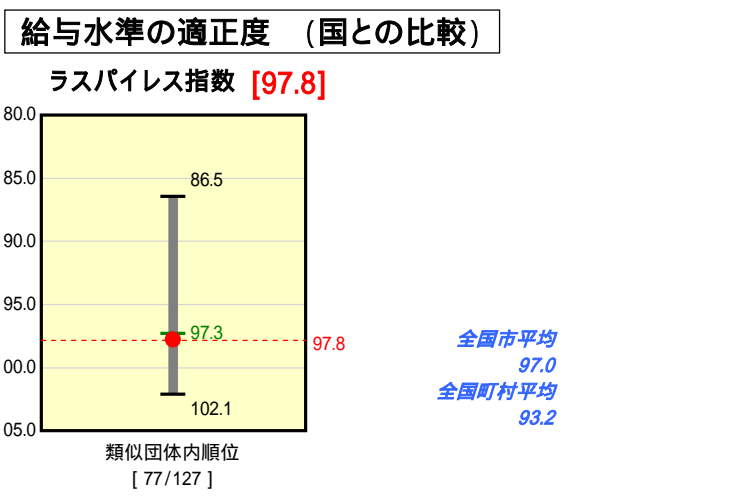
市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

茨城県 龍ヶ崎市

人口	79,199 人	(H20.3.31現在)
面積	78.20 km ²	
歳入総額	22,428,654 千円	
歳出総額	21,818,783 千円	
実質収支	496,153 千円	



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
 平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
 ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年度地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】
 平成13年度以降連続した伸びを続けており、0.79となっている。類似団体と比較して良好であるのは、ニュータウン開発に伴う宅地化・人口増により類似団体平均を上回る税収があるためであり、今後も税の徴収強化等による歳入の確保に努めていく。

【経常収支比率】
 福祉部門における扶助費の増加および公共下水道事業の繰出基準の改正に加え、ニュータウン開発に伴う先行投資や都市再生機構立替施行に係る起債や債務負担行為の償還がピークにあることから財政の硬直化が進んでいる。従来から財政健全化に取り組んでいるが、第2次財政健全化プランでは平成19年度から21年度の3年間で総額15億円の財源確保を目標に掲げ、徴収の強化等による歳入の確保に努めるとともに、人件費の削減や市債の新規発行の抑制による公債費の削減など、歳出の削減を徹底していく。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】
 類似団体との比較では良好となっている要因として、ごみ・し尿処理や消防業務を一部事務組合で行っていることがあるが、人件費における退職補充の抑制や時間外勤務手当の削減、物件費における市施設の省エネ取組や施設管理費用の見直し等もこれまで行ってきており、引き続き節減に努める。

【ラスパイレス指数】
 給与構造改革等に伴い昇給が抑制されたことや前年度の退職者が多かったことから、指数が抑制され、類似団体平均に近づいている。今後も、高齢層職員の昇給抑制や定員適正化の取組などを継続し、更なる給与水準の適正化を図る。

【人口1人当たり地方債現在高】
 類似団体との比較ではやや良好に見えるが、ここには反映されないニュータウン開発に伴う公債費に準ずる債務負担行為や一部事務組合債の償還負担金の残高も多いため、市債新規発行の抑制(単年度16億円以内)とともに、既往債の借換えや繰上償還などに努める。

【実質公債費比率】
 市債の新規発行の抑制などの効果により、類似団体との比較では良好となっているが、ニュータウン開発に伴う先行投資や都市再生機構立替施行に係る起債や債務負担の償還、一部事務組合債償還負担金等がピーク期にあることから、今後も市債の新規発行の抑制に努めるとともに、既往債の借換えや繰上償還など、より適正な管理を図る。

【人口1,000人当たり職員数】
 過去からの定員適正化計画の取組により類似団体平均と比較して良好となっている。今後も、平成18年度に策定(平成20年度見直し)した定員適正化計画に基づき、平成22年度までに10.1%(55名)以上の削減を目標とする。